

授業科目

公衆衛生看護学実習III

担当教員名 杉本 洋、和田 直子、宇田 優子、小山 歌子、稲垣 千文	対象学年	4	対象学科	看護
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	45

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	○	○

授業の概要

事業場での産業保健活動への参加と、産業保健活動を支える社会資源である産業保健総合支援センターの実習を通して産業保健活動の実際を学ぶ。

授業の目的

産業看護活動の実際を学び、産業看護活動を展開する上で必要となる知識と技術を学ぶ。

学習目標

1. 産業保健が対象とする労働者の生活様式、健康課題が理解できる。
2. 事業場における衛生管理体制と産業看護体制を説明できる。
3. 事業場外の社会資源の意義を説明できる。
4. 労働衛生管理の基本を説明できる（作業環境管理、作業管理、健康管理）
5. 産業保健活動における看護職の役割を考察できる。

授業計画

授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1. 実習企業における健康管理体制等を調べ、学ぶ。	実習・事前学習・個人学習など	杉本 洋 他
2. 職場巡視など産業保健活動に参加する	実習	杉本 洋 他
3. 労働衛生管理の基本を実習体験と照らしあわせて学ぶ。	実習	杉本 洋 他
4. 産業保健総合支援センターでの実習を通して、産業保健における事業場外の社会資源、労働者の現状について学ぶ。	実習・講義など	杉本 洋 他
5. 産業看護職の役割を考察する。	実習・討議・個人ワークなど	杉本 洋 他

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書						
その他の資料	実習要項					

評価方法

実習提出物、課題レポート、実習態度

履修上の留意点

臨地での実習期間が限られている状況がありますので、事前準備を万全にして貴重な臨地での実習機会が多くを学んでほしいと思います。

オフィスアワー・連絡先

水曜日 11:00-13:00

研究室 K506

メール sugimoto@nuhw.ac.jp

※実習指導等でやむを得ず、当該時間不在となることもあります。